

2010年度 東北大学法科大学院入学試験
試験科目：民事法（民事訴訟法）

以下の問に答えなさい。

(1) 主張責任とは何か。

(2) 原告 X は、Y を被告として、甲土地（登記名義人は Y である）について所有権確認訴訟を提起した。

甲土地について、元々の所有者が A であったことについては X と Y との間で争いがない。X は、X の父 B が A より甲土地を買い受けたと主張した。これに対して、Y は、X の主張する売買契約の当事者は A と Y の父 C であって、甲土地は C が A より買い受けたものであると主張した。なお、B も C もすでに死亡しており、X も Y もそれぞれの父の単独相続人である。

裁判所は、証拠調べの結果、以下のような心証を得た。甲土地の売買契約は A と B との間で締結された。しかし、その後に B から C への転売契約が締結され、C は転売代金を支払っていた。そこで、裁判所は、X の請求には理由がないとして請求を棄却した。

この判決の問題点を指摘しなさい。